

SAPPORO × エコチリ. 環境広場さっぽろ2024

2024.8/24土・8/25日

札幌市では、「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市」を目指し、子どもたちをはじめ、すべての人に環境教育の場を提供する総合環境イベント「環境広場さっぽろ」を毎年開催！ 展示のほか体験プログラム、ステージイベントまで、子どもから大人まで楽しく学べる企画がいっぱい。

北海道最大級の環境・SDGsイベント



それぞれSDGsの視点を取り入れた4つのゾーン



スポーツゾーン

体を動かしながら健康やSDGsについて考えるプログラムを体験。



環境・SDGsゾーン

最新の環境技術や環境配慮製品の紹介、環境体験コーナーも。



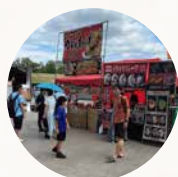
キャリア教育ゾーン

子どもたちを対象に、職業体験を通して、環境について学べる。



ステージ

企業、学校、団体や行政などの取組を紹介。クイズやゲームも開催。



フードゾーンは、北海道らしいメニューも楽しめる！

※詳しくはこちら／
画 10:00～16:00
会 札幌ドーム
主 札幌市豊平区羊ヶ丘1
主 札幌市
協 協力事業者／アドバコム
https://www.ecochil.net/hiroba2024/

※写真はイメージ

SDGsって？

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2030年までにサステナブル(持続可能)でよりよい世界を目指す国際目標。



家庭でできることは？

汚れのもとをなるべく流さない



汚れを分解・吸収してくれる微生物の動きを活性化させるため、よりたくさんの空気を反応タンクに送り込まねばならず、電力使用によるCO₂の排出が増えることに。例えば、台所では、食べ残しや野菜くず、余分な洗剤などを流さないように工夫しよう。また、微生物は油や危険な薬品が苦手なため、流さないように注意！

節水を心がける



下水道を通り、下水処理施設に汚水がたどり着くと、最初沈殿池にポンプで汲み上げる作業が。水が多ければ多いほど、汲み上げるための電力が必要となり、排出されるCO₂が増えてしまう。家庭でも、台所、トイレ、お風呂で節水を心がけて。

みんなの水を大切に使うアイデア

読者モニター もゆさん

タッチレスの水栓で、食器を洗うときにこまめに水を止めています。

読者モニター ハンナさん

節水シャワーヘッドに変えました。肌あたりもよく、髪もすみずみまで洗い流せるので重宝しています。

読者モニター わんこ.さん

野菜を洗うとき、食器を洗うときもボウルに水をため、洗顔を洗面器にためて洗います。

読者モニター みほさん

洗剤を余分に出すと、その分洗い流す水も必要になってしまうので気を付けています。

編集 TNさん

料理にはゴムベラを活用し、ボウルなどの調理器具にソースなどがなるべく残らないようにしています。

札幌市職員 AKさん

お皿やフライパンなどについた油分の多い汚れは、先にフルーツキャップ(果物を保護する白いネット)や紙でふき取ってから洗います。

暮らしの水のゆくえ

普段何気なく使っている水。私たちの生活排水がどのように処理されているのか見学してきました！



反応タンク
約100種類もの微生物や細菌が水をきれいに！

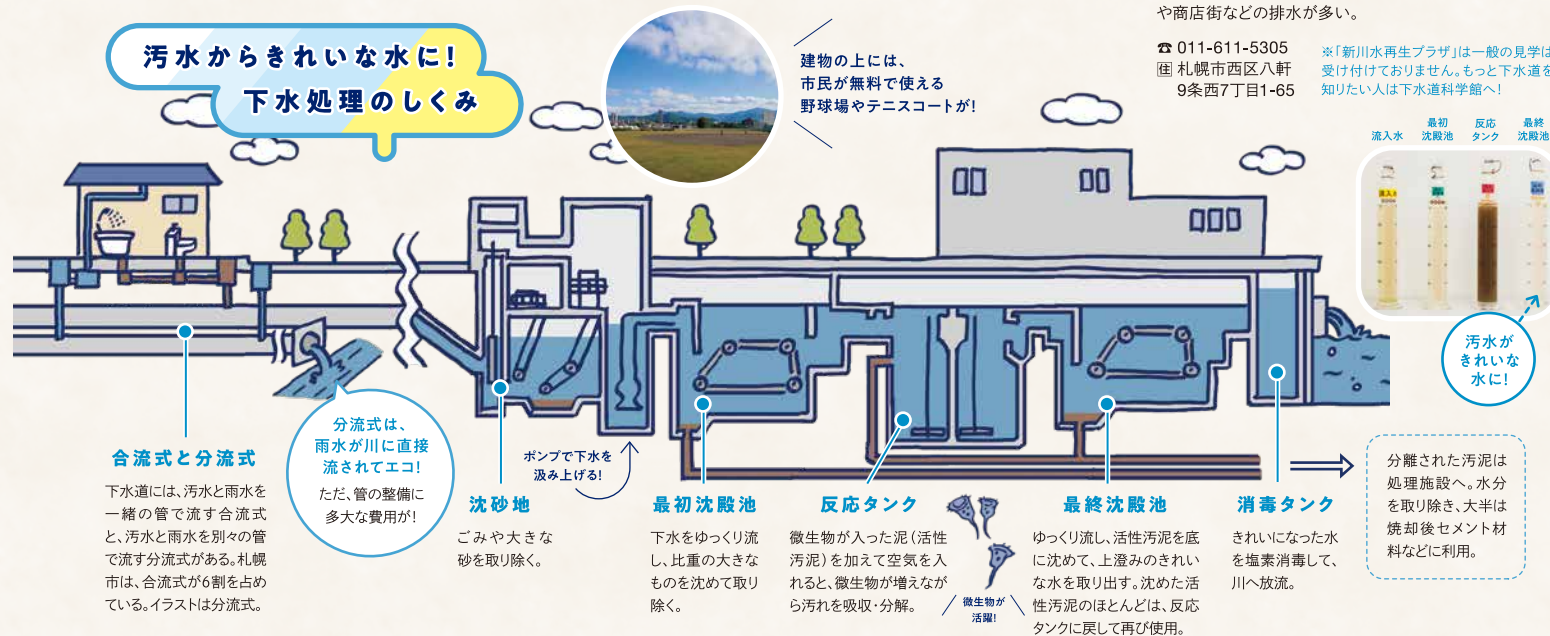


汚水ポンプ
流入下水を約12m汲み上げて最初沈殿池へ。



ブロワ
反応タンクに空気を送り込んで微生物を活性化！

汚水からきれいな水に！下水処理のしくみ



合流式と分流式

下水道には、汚水と雨水を一つの管で流す合流式と、汚水と雨水を別の管で流す分流式がある。札幌市は、合流式が6割を占めている。イラストは分流式。

分流式は、雨水が川に直接流されてエコ！ただ、管の整備に多大な費用が！

沈砂池
ごみや大きな砂を取り除く。

ポンプで下水を汲み上げる！

最初沈殿池
下水をゆっくり流し、比重の大きなものを沈めて取り除く。

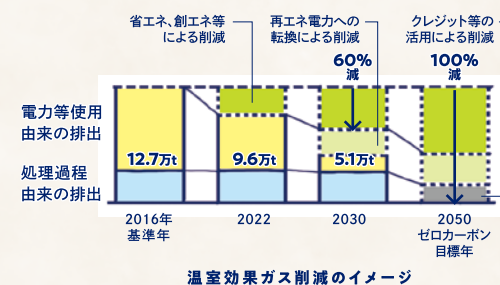
反応タンク
微生物が入った泥(活性汚泥)を加えて空気を入れると、微生物が増えながら汚れを吸収・分解。

最終沈殿池
ゆっくり流し、活性汚泥を底に沈めて、上澄みのきれいな水を取り出す。沈めた活性汚泥のほとんどは、反応タンクに戻して再び使用。

消毒タンク
きれいな水になった水を塩素消毒して、川へ放流。

分離された汚泥は処理施設へ。水分を取り除き、大半は焼却後セメント材料などに利用。

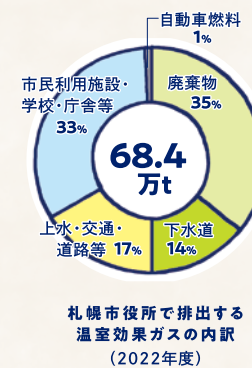
下水道の脱炭素に向けた取組



下水熱を活用したロードヒーティングなど、寒冷地ならではの取組も！

2050年のゼロカーボン達成が目標！

2030年には基準年より温室効果ガスの排出を60%削減、2050年には実質ゼロを目指して、省エネ設備の導入や創エネ・再エネの取組を実施中。いずれは、施設を統合して電力使用を削減したり、建替えに合わせた処理方式の抜本的な変更も検討している。



温室効果ガス排出の要因は電力使用が60%！

下水道事業で排出される温室効果ガスは、札幌市役所全体の14%である約9.6万t(2022年度)。そのうち電力の使用に伴うCO₂が60%を占め、特にブロワに多くの電力を使っているそう。

左ページ「家庭でできること」をチェック！